

まつい三世代まつり

6月15日(土)、「まつい三世代まつり」が松井まちづくりセンター全館において開催されました。

今年度も大勢の東中学校の生徒がボランティアとして参加し、担当コーナーで活躍していました。

午前9時30分の「まつり」開始時刻前には、あいにくの降雨にもかかわらず、開場を待つたくさんの子もたちの長い列ができていました。



東中学校ボランティアの皆さん



開場前の長蛇の列

館内のあちこちには様々なコーナーが設けられており、開場後、早速みんなで取り組んでいました。

イチゴのストラップ作り、セタかざり、ケン玉、ベーゴマ、針金ゴマ、スーパーボールすくい、お琴、さかなつり、紙相撲、お茶席、射的、輪投げ、羽子板など、いずれも三世代が一緒になって楽しめる、昔ながらの懐かしい遊びや工作ばかりです。



お琴体験コーナー



縄なえコーナー



ボランティアの生徒も挑戦



大人気のすいとん汁



羽子板



トコロんも来てくれました

中でも、今回初出展の「縄なえ」は、特にお父さんに人気のコーナーとなりました。

人気のコーナーと言えば、毎年1番は、何といっても「すいとんの試食」です。今年も、準備完了の放送を聞いて我先にと試食会場に急ぎ、おいしそうに食べる大勢のこどもたちの姿が見られました。

この三世代まつりのほか、夏季交流懇談会、松井地区文化祭、松井ウォークラリー大会、松井地区新年祝賀会、松井地区成人のつどいなどは、地域の文化を引き継ぎ、絆をいっそう強めていくことにつながります。

松井まちづくり協議会は、絆づくりや地域活性化に寄与するため、これらの事業を今後も積極的に実施・応援していきます。



射的コーナー

松井ウォークラリー大会を開催

3月24日(日)、松井ウォークラリー大会が、同実行委員会(田村信男委員長)主催、松井まちづくり協議会共催、松井地区青少年を守る会後援により、松井地区の6~7kmのコースで開催され、地区内の家族連れ、職場の同僚、友人知人同士などおよそ200名(スタッフ含む)が参加しました。

ウォークラリー大会は、絆づくり推進はもとより、緑豊かな地域をみんなで歩き、地区の良さなど新しい発見のできる機会にもなります。

まちづくりセンターをスタートし、熊野神社、航空記念公園、こぶし団地、カルチャーパークを経由するウォークを行った参加者に

は、ゴール後にすいとんが振舞われました。

表彰式では、基準タイムが発表され、これにもっとも近いタイムとクイズ点、ゲーム点を加味した結果、「グリーンエレファント」チームが優勝の栄誉を得ました。



ソメイヨシノが咲き始めた航空公園



優勝おめでとう

